

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	長崎大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点		
中核となる専攻等名	熱帯医学研究所		
事業推進担当者	(リダー) 青木 克己 外13名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>地球規模で流行する熱帯病・新興感染症の包括的制御戦略を創生発信する拠点をめざす。拠点の運営は、卓越した人材と研究実績を有する熱帯医学研究所、新興感染症病態制御学系専攻及び大学病院感染症センターを中心に行う。フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシア、タンザニア、中国などの海外連携拠点病院、フィールド基地を更に整備し、WHOとの提携を強化する。拠点内には研究開発を推進するための四つの互いに連携するグループとして、基礎研究、情報トランスレーション、製品開発、臨床介入研究グループを置く。この研究は、基礎と臨床、フィールドと実験室、開発途上国と先進国の三つの双方向性研究で特長づけられる。また国際的に不足している臨床家・疫学者を含む感染症専門家を育成するために、現行の博士課程に加え新たな教育プログラムを設置するとともにポスト・ドクを大幅に増員する。この体制のもと、西ナイル熱ワクチン、ヤコブ病治療薬、ヒトの行動変容による感染予防法の開発などの目標を達成し、当該分野における世界のリーダーシップを確立する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>長年の実績にもとづき、西ナイルウイルス、マラリア、コレラ、プリオンなどによる感染症の病因、病態、生態の解析、研究情報トランスレーションをへて、製品開発および治療、予防介入を目指す拠点計画として評価できる。「感染症の国際協力による制圧」の必要とされる現在に合致したプログラムとして期待できる。</p>			